

Amir Tsarfati 氏 中東時事アップデート 2019年03月01日公開

.....

では 正式にお祈りから始めたいと思います。その後 中東アップデートに入ります。

お父様。感謝します。あなたは、あなたの子供たちが あなたのご計画を知っているように望んでおられます。お父様。感謝します。あなたの御言葉は ただ真理であるだけでなく 正確で信頼出来るものです。事実に基づくものであり、御言葉自体が 何度も何度も、繰り返し繰り返し、昨日も今日も永遠に同じであることを証明しています。お父様。今日、私たちは自ら選んで あなたの御言葉を信じ、あなたの御言葉から 今の時と時代を理解します。

お父様。ガリラヤ湖より あなたに感謝し、あなたを祝福します。ここで福音の3分の2が起こった場所です。

明日 私たちはここを探索しますが、とてもワクワクしています。私達を贖う方は生きておられることを私たちは知っていますから。このガリラヤ湖より あなたの御名を祝福します。そして 今、この配信を通して あなたが 世界中の人々を訪れてください。そして あなたが彼らを祝福してください。あなたの御言葉が 明確になりますように。

そして、あなたがすぐに戻って来られるという 慰めと希望をお与えください。

イエスの御名によって。アーメン

アーメン！

では 皆さん。この電気を消しましょうか？

その方が 私からよく見えますから。

今から、中東アップデートに入ります。

まず、ベニヤミン・ネタニヤフが ロシアの大統領 ウラジミール・プーチンとの 非常に重要な会談から帰国しました。皆さん 2015年の9月以来 ネットニヤフがプーチンと会談を行ったのは これで11回目です。イスラエル首相のように ロシアの大統領と これだけ多くの会談を行った世界的指導者は 他に 居ません。

ネタニヤフ首相は ロシアが、シリアに留まるために入って来ている事を 非常に巧みに悟りました。彼らは ただ、1ヶ月や2ヶ月の間 訪れる為にやって来たのではありません。

その為 シリアに関して、ロシアと協力することは 第一日目から 非常に重要だったのです。私たちは ロシアが私達を理解し、私たちがロシアを理解するための メカニズムを構築しました。私たちがどのように立ち居振舞うかを 彼らは理解し、そして彼らは 私達の邪魔は出来ないことを 理解しています。

興味深いのは 去年の9月、シリアの砲撃が ロシアの偵察機イリュージン 20 を撃墜した時でさえ、これはイスラエルに関係のない事ですが、あれでさえ イスラエルとロシアの間に 少しばかりの“危機”をもたらしました。

しかし 2日前 ウラジミール・プーチンは言いました。「この危機は 過去のものであって 我々は 敵同士ではなく 味方国である。」と いうと、こう言いたい人もいるでしょう。

「アミールさん、ちょっと待ってください！」

「あなたは、ロシアがイスラエルを攻撃する と、ずっと 言っているじゃないですか？」

「ゴグとマゴグは、実際には ロシアが統率して イスラエルを攻撃する」と。

そうです。私の考えは変わっていませんよ。聖書は、決して 考えを変えませんから。

エゼキエルは 今でもそこにあり、今でも 章は同じです。しかし、覚えていてください。

全ての事には タイミングがあって、時と場所があります。そして 今の時点では、イスラエルと親しくしている事が ロシアの利益になるのです。

その理由を説明しましょう。

現在 ロシアは 40万人の旅行客を 毎年 イスラエルに送っています。

ロシアは イスラエルの技術や発明を 購入しています。その多くが 制裁のために、彼らは他の国から購入出来ません。しかし実際 彼らは 私たちからは 購入出来るため、彼らには私たちが必要なのです。それを除いても イスラエル首相は 世界で唯一、プーチンと トランプ大統領の両方と 非常に良好な関係にある世界指導者です。この両指導者を、彼のように巧みに 導ける指導者は 他に居ません。

そして 信じ難いかも知れませんが、私は 自分が何を言っているのか 分かっていますよ？

何度も プーチンが トランプに何かを言いたい時、また 逆に トランプがプーチンに 何かを言いたい時、ネタニヤフが それを伝えたのです。また ネタニヤフは ホワイトハウスで起こっている事も、クレムリンで起こっている事も 理解していますから、彼らは ネタニヤフに相談しています。今の時点では、イスラエルの首相は 非常に独特の立場にあるのです。

では、プーチンとの会談の結果を 簡単にご説明します。

3時間の会談です。プーチンは 世界の指導者達と 20分以上会談しません。それが 3時間の会談だったのです。しかも 元々ネタニヤフは、この会談に 1週間前に行かなければならなかったのです。それが 国内での問題のために、これを延期させたのは ネタニヤフです。そしてプーチンは 忍耐強く待ち、ネタニヤフを クレムリンに迎えた のです。

それだけでなく 彼は 数ヶ月の内に エルサレムを訪問する事に 合意しました。即答です。

ネタニヤフが テレビの生放送で 彼を招待し、すると ウラジミール・プーチンは「はい。伺います。」と言いました。彼は 何かを考える必要すらなかったのです。

さて この会談の結果について 簡単にご説明します。

これが 非常に興味深いのです。

まず ロシアは、イスラエルに 次のように言っています。

「イランの事は 我々に任せなさい。我々は イランと対話して、彼らが自ら出て行くようにしたいんだ。我々には 我々のやり方がある。彼らは 我々の味方だから、どこを押すと、どのようになるかを知っている。」そして イスラエルは 言いました。

「それで構いません。ただ 念をおしておきますが、あなたは イスラエルと シリアの国境と、イラン駐

留の最前線との間に 8km の距離を 確保することを 私たちに約束しました。しかし彼らは 何度もそれに 違反しています。私たちは すべての違反について 詳細を把握していて、イランのミサイルの所在、イランの偵察基地の所在、それらの全てを 我々は 正確に把握しています。」ところで 私たちは シリアで起こっていることを ロシア以上によく知っています。

ロシアは 現地にいますが、我々は シリアに 人間諜報員を この 50 年間ずっと置いているのです。ロシアは 一度もしたことがありません。彼らは 3～4 年前に ただ現れただけで、我々が持っているものを 彼らは持っていません。シリアの村のいくつかは 実際に その住民の半分が イスラエルのモサドに雇われています。

あ、言っちゃいましたね？ まあ、良い。

ともかく 私が言いたいのは、我々には 非常に優れた諜報機関があって、我々が攻撃する時は 常に標的そのものに命中させます。私たちは、その場所、その中にあるもの、その中身が、どこから来たのかを 正確に把握していますから。

そしてロシアは、実際には 時々イスラエルが 汚い仕事をしてくれるので喜んでいます。

従って 彼らが合意したのは「イスラエルが 差し迫る危険を目にした時には、イスラエルには 攻撃する権利がある。」これは すごいことですよ。

基本的に ロシアは こう言っているのです。

「日々の活動は 私たちに任せなさい。しかし 緊急時には 心配しないで 必要なことを行いなさい。我々は 反応しない。」

もう一つは ロシアがシリアに与えている S-300 ロケットについて 皆が話をしていますが、明らかに 彼らは シリア人を訓練しようとして 大失敗しました。シリア人達は・・・

いや 今は この言葉は使いません。ともかく ロシアは S-300 であれ、S-400 であれ、その操作をシリア人に任せる事は出来ないと 判断したのです。従って ロシアは、シリア軍にそれらを届けません。ロシアが これらの砲台に人を置き、ロシアは 我々に向けては これを使いません。それをすると 自分たちの利益に反しますから。

もう一つ起こった事。イランは 追い出されません。

しかし バッシャー・アサドは もはや ここでは脇にも居ません。皆さん 理解しておいてください。ロシアは 現在 何度も考慮しているのです。「バッシャー・アサドに権力を残すのは 賢明か？ 恐らく我々は 彼の代わりに 別の操り人形を 置くべきだろう。」

「なぜなら 現在 彼のせいで、誰も シリアの復興に関わることも、手伝う事も望まない。

その為 我々は、シリア復興という 美味しい契約の利益を 享受することが 出来ていないじゃないか。」

そこでロシアが考えているのは「そろそろ アサドを下ろして 他の者を置こうじゃないか。」彼らには 他に代わりがいるのです。

彼らには Suheil al-Hassan という名の将軍がいます。

事実 彼は 命の危険にさらされている為、フメイミムの ロシア基地に住んでいます。
彼らがそれを実行するかどうかは 私たちには分かりませんが、一つ 私たちに分かっているのは、バッシャール・アサドは 全てのものが 彼の足元で燃えているのを感じていて、彼は ものすごいプレッシャーを感じています。

そのために 彼は 先週テヘランに飛んで ロウハーニーに会いました。
彼は ロシアを信頼出来ないが、イランは信頼出来る事を 理解しています。そのため 彼は、はるばる テヘランまで飛びました。そしてテヘランで起こった事が また 面白いのです。
外相の ザリーフは その非公開会議に招待されず、その事に激しく反発して、彼は 直ちに辞表を提出しました。しかも 彼が辞表を提出した方法は インスタグラムです。たった それだけ。興味深いです。ロウハーニーは 辞表を受け取りませんでした。このように この全貌の中で権力争いがたくさんあって、イラン政権の中でさえ それが起きているのです。

また 皆さんにお伝えしたいのは、
バッシャール・アサドは 継続して 自国民を惨殺しています。
彼は現在 イドリブの スンニ派の人々の 飛び地を 爆撃しています。そこには3百万人以上の スンニ派が暮らしていて、アサドは 彼らを激しく爆撃、殺害しています。今は ロシアは 彼らを助けておらず、トルコは それが気に入りません。しかし アサドがそれを行なっているのは、彼には それが出来からです。皆が シリアで起きている事を見て見ぬ振りをしている内は、皆が何もしない内は、アサドには それが出来るので。

もしこれが 人権理事会に任されているなら、そして もしこれが イスラエルなら、彼らは 私たちのことを日夜 非難したでしょうし、安保理事会が直ちに開催されたでしょう。
しかし アサドが自国民に行なっている この大虐殺は 全く注目されません。唯一 誰かが何かを言うとなれば、それは 化学兵器が使われた時だけです。
しかし 毎日爆撃して 殺害する事は、ところで 1日に 60人~100人ですよ？
それが 周辺の誰からも 一切注目されないのです。

さらに皆さんにお伝えしたいのは、
イランは、ネタニヤフがプーチンと親しい、という事実が 気に入りません。
ヒズボラも、それが気に入りません。現在 大きな危機が起こっていて、私もツイッターで報告しましたが、ツイッターをお持ちの方は ぜひ 私をフォローしてください。Behold Israel です。私は 1日に 4回は投稿していますから。そして 私が先週 投稿した内の1つで、ヒズボラは 今 1980年代中頃の 創設以来 最悪の危機に陥っています。
現在 給料は 400ドルから 200ドルに削減され、人によっては ひと月 200ドルですよ。
そして 軍事組織の上層部が 800ドルから 400ドルです。それだけではありません。皆がヒズボラをボイコットしています。

イギリスでは、つい先日 ヒズボラの政治組織も 軍事組織も、両方ともが非合法になる という法案が可決されました。つまり ヒズボラの旗を振る者や、ヒズボラと連結する者は 誰でも、今では 犯罪と見なされるのです。彼らは 現在、テロ組織と考えられていますから。

イギリスですら そうなのです。と言っても 私は遅いと思いますが。彼らは もっと以前に それをしておくべきでした。しかし 今からでも行う方が、何もしないより ずっとマシです。

シリア国内での プーチンの状況は、現在 非常に悲惨です。

皆さん、理解しなければなりません。皆、プーチンが嫌いです。イランは 彼を信頼していません。ヒズボラは 彼に耐えられません。スンニ派は 彼はシーア派の味方だ と考えていて、シーア派は 彼が スンニ派と協定を結んでいる、という事実が気に入りません。そして 最悪なのが 彼にとって 戦利品が 一つもないのです。彼がシリアにやって来た 主要目的は それなのに。

それだけでなく 石油価格は暴落していて 1バレル\$55です。そしてアメリカは 世界最大の石油輸出国になり、1日に1200万バレル以上を輸出しています。現在 アメリカは 正式に世界最大の石油輸出国です。彼らはそれを ロシアから取り、イランから取り、ベネズエラから取り、アメリカが飛躍している間に これらの国々は 崩壊しています。

それから アメリカは ロシアと協議を結んでいて、ロシアは ユーフラテス川を渡って 川の東側に行く事が出来ません。そこに 全てのガス田があるのです。

ですから プーチンは 今 非常に落ち込んでいて、その為 ネタニヤフが行った時、彼は 彼との友好関係を持つ、もしくは 彼の周りに友好的な環境を持つ機会を 逃すわけにはいかなかったのです。

ISISは ほぼ居なくなりましたが、それでも まだ シーア派と・・・

皆さん、皆さんはこれについて 全く耳にしていないでしょうが、ロシアの兵士が3人 ISISに誘拐されました。先週です。誰も それについて語りません。しかし現在 ロシア人が ISISの手、または ISISが残した者によって捕らえられているのです。これらは 現在 起こっている 非常に重要な 事柄です。

さらに 皆さんに 理解しておいて欲しいのは

「では、いつ ロシアはイスラエルを攻め込むのか？」と 仮に 私に聞かれるなら、
といっても 私は預言者（プロフェット）では ありませんよ？ 私が ノン・プロフィット（非 - 営利）団体の人間であることは どれぐらいの人が ご存知ですか？ともかく以前にも言いましたが 聖書は非常に明確です。彼らが 我々に 攻め込んで来る時がやってきました。

私は 今週 その種が蒔かれたと思います。

テッド・クルーズ議員が 決議を提出しました。「アメリカは、ゴラン高原における イスラエルの主権を認める。」ゴラン高原は、今日 皆さんと一緒に訪れた領域で、イスラエルが 1967年 シリアより占領しました。ただ 皆さんがご存じないのは、まず第一に あの場所における 豊かなユダヤ人の歴史です。

私たちは あちらで古代のシナゴークを発見しました。古代のモスクではありません。

そしてもう一つ 皆さんに知らせたいのは 元々ゴラン高原は、ユダヤ人の為の故国を準備する目的でイギリスに与えられた権限の一部でした。イギリス人が・・・

この中で イギリス人の方？ こんな事を言って ごめんなさい。

ただ イギリス人は、領土のいくつかを フランスと交換したのです。自分達の都合の為に。自分達の必要の為にです。彼らは誰にも伺いませんでした。そしてパレスチナの 3分の2が すでに削り取られ、アラブに与えられたのです。そしてそれが ハシミテ王国です。

しかしゴラン高原でさえ、元々 権限の中にあった領域だったのです。

それが 後には含まれませんでした。他の利益のために。ですから 私達は、それを占領したからと言って謝る必要もないのです。それに 1948年から1967年の間に シリア人達が ゴラン高原でしていた事の真相は 言うまでもありません。彼らは 発射台を使って、イスラエルに向けて ロケットを発射していたのです。ですから 我々が1967年に占領した時、我々は それを返さない事を 非常に明確にしました。6年後の1973年 彼らはそれを取り戻そうとしましたが、彼らは 失敗しました。神に感謝します。

皆さんに言うておきますが あれ以来、イスラエルは多くの居住地を建て 我々は ぶどう や、たくさんの植物を植えました。皆さん、今日 ご覧になりましたね？ りんごの果樹園、さくらんぼ園、あそこは繁栄しています。それが 何年も経って ...

ところで 1981年に メナヘム・ベギン首相が「イスラエルは ゴラン高原を併合する」との 法案を可決しました。あそこは イスラエルの領土の一部であると。そして当時のレーガン政権は 発狂しました。「何をやるんだ！」とかなんとか。イイですか？

アメリカ合衆国の議会は 間も無く法案を可決します。アメリカは ゴラン高原をイスラエルの領土として 認めるのです。そして将来 イスラエルと安全協議を結ぶ時は いつでも ゴラン高原も協議の一部です。

皆さん トランプ大統領は この考えが気に入っています。

彼は バッシャー・アサドの事が 全く好きではありません。

彼は イランの民兵達が 全く好きではありません。

そして彼は 実際 ある教理を握りしめていて、私達はそれを「現実主義の原理」と呼んでいます。彼は 現実を認識していて、その現実とは この 50年の間 あそこには イスラエル居住地、イスラエルの警備がすでにあり、イスラエルの下で あそこは繁栄しています。

なのになぜ 頭を砂の中に突っ込んで 未だに そこがロシアの領土だ などと言うのですか？ そうではないのに。

ここからが、ポイントです。

私が心から信じているのは、これ以上 ロシアは イスラエルの前進を認めないでしょう。ロシアは 理解しています。「自分達は ユーフラテス川を渡ることは出来ないかも知れない。しかし ゴラン高原には ガスと石油があるのだ。しかも 我々の部隊が ゴラン高原から たった5kmの場所に居る。イスラエルは 我々の敵ではなく 友だ。国連の“国際的決断”によれば、ゴラン高原は イスラエルのものではない。

我々は あれに反対する事が出来る。我々は ゴラン高原はシリアの一部だ と宣言する事が出来る。我々は シリアの地主なのだから。我々は シリアがいつか 確実に良くなり、平常になって安定、安全になるようにしたいのだ。我々は ゴラン高原を 我々の手元に置いておきたいのだ。」そして同時に ロシアが本当に欲しいものとは 何ですか？ もちろん それは戦利品です。

私が本当に信じているのは、、、ところで この法案の提出は テッド・クルーズが着手したのですが、共和党のトム・コバーン、それから 多数党の指導者である ステニー・ホイヤーが、すでに支持する事に同意しています。ですから 共和党と民主党が 何らかで同意したのですから、これはきっと 上手く行きますよ。多分、唯一 彼らが同意した事では ないでしょうか。そしてこれは ものすごい事です。本当に ものすごい。ですから これは 私たちがしっかりと 注目しておくべき事だと 心底思います。

それから もう一つお伝えすると、

ネタニヤフは イスラエルの法務長官によれば、昨日の時点で 3つの汚職の疑いで 聴聞会に招かれています。説明しますと イスラエルの闇の国家は ずっと・・・

闇の国家が アメリカだけのものなど と 考えてはいけませんよ？

アメリカで「Deep State / 闇の国家」なら、イスラエルでは「Deep ----」

「あなたが妨害する」ということです。

皆さん 理解しておいてください。ずっと 世界中の億万長者や 実業家や 銀行家の、同じ権力が後ろで操っているのです。これは アメリカだけでなく ヨーロッパだけでなく ここでもそうです。そして 彼らにとって ネタニヤフは 悪いニュースなのです。

ネタニヤフが 彼らにとって 悪いニュースなのは、ネタニヤフが 世界統一宗教、世界統一政府、世界統一経済の流れに乗らないからです。ネタニヤフは 国境廃止や 何かの流れに乗らないからです。ネタニヤフは その協議の一員ではないからです。トランプ大統領も また、アメリカを 世界統一政府の主要勢力にしようとする 働きにとって 大打撃なのです。

そして 今の時点で ネタニヤフもトランプも、両方共が 国内で大きな問題に直面しています。ほんの2日前 議会の全面での コーエン弁護士の 発言は、皆さんに言うまでもないでしょう。ところで 私は昨日 彼が議会で発した 全ての証言を見ましたが、彼がこれらの全てを言う時 どれも 全く同じに見えたのが 驚きでした。ですから弁護士は 非常に柔軟で、彼らは その瞬間に 彼らの利益になるように話します。しかし 私に言えるのは、彼のトランプ大統領の信用を失墜させるやり方は、疑いの種を植え付け そして 欺き続けます。これは 大統領にとって 良い知らせではないと思います。

また ネタニヤフにとっても同様で、既に 統計に表れています。これらの起訴のために、ネタニヤフの 人気急降下しています。この先どうなるかは 私には分かりませんが、

私に言えるのは ネズミが穴から出て来るためには 猫が取り除かれなければなりません。

分かりますか？

ですから私は 中東は2つの事に対して すっかり準備が出来ていると思います。

この2人の指導者達が権力を失った時、大戦争とその後もたらされる偽の平和です。皆がトランプの和平案を非常に恐れています。

一つご説明します。トランプ大統領はエルサレムをイスラエルの首都であると認めました。そして彼は間もなくゴラン高原がイスラエルの領土であると認めます。

実際に彼はパレスチナ人達に言いました。「あなた方はもう難民ではない。世界で三世、四世となれば、難民三世などという定義は存在しないのだ。難民とは、そこから出された本人、一人だけで、後々の世代は難民ではない。」その人は、既に何処かで生まれていて、その状態で国を追われたのではありませんから。だから「帰還のことは忘れなさい。もう難民は居ないから。」それからトランプ大統領はまたこう言いました。「あなた方は理解しなければならない。あなた方がテロリストの家族に報酬を与えている限り、我々は1ドルたりともあなた方に与える事は出来ないのだ。」ところでパレスチナの大統領アッバースはちょうど昨日次のように言いました。「たとえ我々の食料がなくなったとしても、我々はテロリストの家族に報酬を払う。」言い換えれば、彼はこれは絶対に変えないという事です。ですからトランプ大統領は現実主義です。

そしてエルサレムで発行されているアラブの新聞アルクッズが昨日発行したのは、

「トランプ大統領の協議はパレスチナ国の首都としてエルサレムが含まれておらず、実際にはガザを自治区にするよう提案している。また西岸とアラブを直結している。

これは政治的というよりもむしろ経済的な和平案である。そして西岸の人たちは現在、ジャレド・クシュナーが全アラブ諸国を訪れて集めている多額の富を享受するようになる。ガザの人々は自分達の自立した立場を得る。しかしそれは国ではなく、自身の軍隊を持った主権国家でもなければ、エルサレムを首都にすることは絶対にない。」

これを言ったのは、私ではありませんよ？

アラブ人がこれを言ったのです。彼らはこれが協議であることを理解しています。

私はジャレド・クシュナーを恐れていません。私は彼が反キリストだとは思っていません。私のところにはこの質問が殺到しているのです。

「ジャレド・クシュナーについてどう思うか？」「彼が反キリストなのか？」

彼は違います。彼が反キリストではない理由は2つあります。

彼はイスラエルを愛するユダヤ人です。

彼はイスラエルを本当に愛していて、私は彼が第二のホロコーストを実行するとは見ていません。

2つ目は彼は心の底から信じています。彼はシオン主義です。

シオン主義とは何か？「シオン主義とは何ですか？」とよく聞かれますが、

シオン主義はユダヤ人に限らず誰でもなれます。

シオン主義の定義は誰でもイスラエルの地はユダヤ人のものだ、と信じる者のことです。シオンの聖書的な名前はユダヤ人のための地という意味、それだけです。

ですからもしあなたがイスラエルはユダヤ人のための土地だ、と信じるならあなたはシオン主義です。定義によればそうなのです。

ですから ジャレッド・クシュナーは シオン主義です。

では 反キリストは 何をしますか？

反キリストは、ユダヤ人をここから追い出します。彼らは 外に逃げるのです。

彼が、自身を 神であると宣言し、神殿に着座しますから。

ジャレッド・クシュナーは 神を恐れる正統派ユダヤ人です。彼は、自身を 神であると宣言するなど 決してしません。いいですか？ 私は トランプ大統領の案が パレスチナ国家を作って エルサレムを 分断しようとしているなんて 考えもしません。仮に それが彼の案だったとすれば、そもそも 彼は、エルサレムを イスラエルの首都であると 認めるなど絶対にしなかったでしょう。絶対にありません。それは愚かな事ですし本質です。

彼は エルサレムを首都認定した事で、ものすごく多くの攻撃を受けたのです。何のためにですか？ 後に分断するために？ もしそうなら、そもそも なぜ そんな事をするのです？

皆さん 私は トランプの 大ファンというわけではありませんよ？

しかし 私は 現実主義です。本当に信じていない限り 誰もそんな事は行いません。

ところで トランプ大統領の支持者の基礎は アメリカ国内の 福音派クリスチャンです。そして 誰一人として、トランプが エルサレムを分断する事は 受け入れません。世界中の、非常に多くの 福音派クリスチャンの 頭の中にあるのは 預言者ヨエル3章1-2節の言葉です。

ところで それは マタイ 25章36-51節 オリーブ山の垂訓で イエスも呼応しています。

どちらも 王の王、主の主が戻って来られた時、どのように 全世界の諸国を裁かれるのかについて 語っています。その基準は何でしたか？

「彼らがわたしの民、わたしのゆずりの地 イスラエルにしたことで彼らをさばく。」

(ヨエル3:2)

ですから 福音派クリスチャンは 理解しているのです。ユダヤ人に触ってはいけません。そして あの地を分断してはいけません。さもないと 神の御前に立って 裁かれる事になる。他の何でもなく 聖書がそう告げているのです。ですから 大統領が 絶対に避けなければならないのは、この2つです。それは 福音派が認める事が出来ません。

ところで トランプ大統領に エルサレムが首都であると認めさせた 主要勢力は、しかも 彼はそれを 2018年の前、2017年の12月に行ったのです。クリスマスツリーを背後に、彼は既に発表したのです。なぜか？ それは エルサレムを取り戻すには50年目のヨベルの年でなければならないからです。そして 1948年5月14日のイスラエルの建国から 70周年記念日です。これ以上に ふさわしい日は ありません。彼は 2018年5月14日、イスラエルが再建されて ちょうど70年目に それをすることを選んだのです。これまた その象徴的な意味のために。あの地にそこまでしておいて それから敵の国を作り、エルサレムを分断なんて事はしませんよ！

それは ありません。ですから どうかお願いします。お家に居る方も、ここに居る皆さんもジャレッド・クシュナーを“容疑者”のリストから 除いてください。

それから トランプ大統領を、分断する“平和”をもたらす者 というリストから 除いてください。それ

も起こりません。

ところで 念のために言っておきますと、ヨエル書をよく読めば イスラエルを分断するだけでなく、文字どおり・・・ちゃんとお読みしましょう。何と書いてあるか 見てください。 3章・・・

ちなみに ヘブル語では2章です。時々 皆さんの聖書が分かりません。ヘブル語の聖書と、分け方が 時々違ってきますから。ヘブル語では2章ですが、英語では3章にこうあります。（日本語では 口語訳・新改訳 3章、新共同訳 4章）

「見よ。わたしがユダとエルサレムの捕われ人を返す、その日、その時、わたしはすべての国民を集め、彼らをヨシャパテの谷に連れ下り、その所で、彼らがわたしの民、わたしのゆずりの地、イスラエルにしたことで 彼らをさばく。彼らは、わたしの民を諸国の民の間に散らし・・・」（ヨエル 3:1-2）

ほら「諸国の民の間に散らし」です。ですから 諸国の罪は、地を分断するだけではありません。事実 彼らは、イスラエルの民を地の外に追い出すのです。

「諸国の民の間に散らし、わたしの地を自分たちの中で分け取ったからだ。彼らはわたしの民をくじ引きにし、子どもを遊女のために与え、酒のために少女を売って飲んだ。」（ヨエル 3:1-3）

言い換えれば 文字どおり人身売買が行われ、文字どおり ユダヤ人たちは 支払いの手段となるのです。しかし それは このアメリカ政権では あり得ませんし、起こりません。

私は ヨーロッパから 反キリストが生まれると 真に信じています。私は 西ヨーロッパだと信じています。私は 復興ローマ帝国 だと信じています。私は イスラエルに対する 憎しみは 既に あちらにあって、あちらに深く 根ざしていると信じています。反ユダヤ主義が 第二次世界大戦の時のように 起こっていると信じています。私は これらのことが 必ず起こると信じています。

はい。という事で、イラン国内の問題について お話ししました。シリア国内での問題について、お話ししました。ネタニヤフの国内での問題について、お話ししました。トランプの和平案について、お話ししました。ネタニヤフとプーチンの会談について、それから イスラエルとロシアの間の 爆発の可能性について、お話ししました。

ところで 皆さん全員に再度お伝えして起きます。私達の カナダでのカンファレンスの受付が オンラインで始まっています。それから その翌週に行われる デンバーでのカンファレンスの登録受付を 数週間以内に開始します。それから オーストラリア、パースの カンファレンスのオンライン登録の受付を開始します。それから メルボルン カンファレンスも。準備が整い次第、皆さんのところに お知らせが届きますから、どうか アプリをダウンロードしてください。25万件近く アプリがダウンロードされています。

これは 皆さんに大変役立つはずですが、お知らせが届くだけでなく インターネット接続があまり良くな

い時には、ビホールド イスラエルの アプリは 簡単に 使いやすく 繋がるには素晴らしい手段です。それから皆さん どうかインスタグラムで 私をフォローしてください。Beholdisrael です。フェイスブックは Behold Israel。 ユーチューブも Behold Israel / ビホールドイスラエルです。

ところで 皆さんに1つ お伝えしたいのは、ある人が 私の動画を全部取って 広告をつけて 他のチャンネルに投稿しています。私達は 絶対にそんなことをしません。私達は 私たちのユーチューブチャンネルで 広告をつけた事は 一度もありません。私達は それはしたくありません。儲けのためにしているではありませんし、お金目的ではありません。ですから 私を見て 広告が出るなら、それは 私たちのものではありません。Behold Israel のチャンネルを訪れてください。それが一番安全です。

最後にお伝えしておきたいのは、私は 皆さんを見ていますが、それは今日 バスの中で 質問が上がったからです。多くの人に聞かれたのは「携挙の後で 救いは可能だと 私は信じるか？」救われていない家族のいる人達にとって これは非常に純粋な疑問だと思います。

皆さんに お伝えしたいのは、私は 患難前携挙を 大いに支持しています。

つまり 私が心の底から信じているのは、信者は 聖書によれば 第一テサロニケ、第二テサロニケ、第一コリントによれば、試練の時が始まる前に 私達は取り去られます。黙示録3章でさえ それを確証しています。次に 患難前携挙を信じる人が 非難されている事の 一つは「あなた達は 簡単な道を選びたいのだ。」「あなた達は 大患難を経験するという考えを 直視したくないのだ。」そこで 私達は 彼らに言います。

「それについて 争うのは止めましょう。 最悪 あなたは 驚くこととなりますよ。自分が大患難を経験しないから。」しかし 多くの場合 彼らはそのことを喜びません。

彼らは そのことを喜ばないのです。だから なぜ、その前に携挙される事が 嬉しくないのかと聞くと、彼らは 何と言うと思いますか？

「私達の愛する者が、まだ救われていないんだ。だから、その前に携挙されたくない。」

言い換えれば、彼らは 大患難に賭けているのです。追加の7年間で 愛する者達が救われるように。言い換えれば、もし 私に聞かれるなら、簡単な道を選んでいるのは 患難後携挙を信じている人達ですよ。なぜなら 彼らは「まだ時間がある。」と考えますから。

対して 大患難前携挙を信じる人達は 言います。「皆、もう時間がないんだ。」「私達は、福音を伝えなければ。」「私達は、燃えなければ。」「私達は、自分の思考、考え方を変えなければ。」「私達は、備えなければ！」

それから あなたの愛する人達に関して 一つ 言いたいのは、

神は 聖徒の祈りを尊重されます。彼は 決してそれを ないがしろにされません。

さらに言いたいのは 聖書は次のように告げています。

「義人の祈りは力強く、働きがあります。」 (ヤコブの手紙 5:16) ※注1

言ってください。「力強く、働きがあります。」

祈りは 最後の手段ではありません。最初に行う事であるべきです。祈りには 驚くべき力があります。そして 皆さんに言いたいのは、もし皆さんの愛する人が まだ救われていないなら、今までになかったほどに 祈りましょう。さらに 可能であれば 断食して祈りましょう。びっくりする事が起こりますよ。祈りは、ものごとを変えます。

祈りは、武器です。

祈りは、あなたが愛する人の為に出来る 最も効果的なものです。

これ以上のものはありません。

それから 皆さんを励まします。どうか 疲れてしまわないで、どうか 落ち込まないでください。「彼らはまだ救われていないのに、もうすぐ私達は ここを出て行くんだ。」

いいえ。聖書は 第二ペテロで こう告げています。

「主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。・・・ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを 望んでおられるのです。」
(第二ペテロ 3:9)

どういう意味だか分かりますか？

これはつまり 神は、決して あなたが 地獄へ行くように 創られたものではありません。予め定められているなんて事は 絶対にありません。もちろん 神の予見能力により、誰が受け入れないか、彼は 既にご存知です。しかしそれは 彼が 神であり、全てをご存知だからです。しかし 神のご性質は、知識の事は 忘れてください。神のご性質、神の御心は、すべての人が救われる事です。悲しい現実は、すべての人が救われるわけではない という事。しかし それは、神が 彼らが救われないように お定めになったものではありません。ただ神は、彼らが 救われないことを選ぶと ご存知なのです。

聖書には、第二テサロニケ 2章で告げています。

「なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を 受け入れなかったからです。それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。」 (第二テサロニケ 2:10-11)

そして、神がそれをされる理由の一つは、

「それは、真理を信じないで、悪を喜んでいた・・・」 (第二テサロニケ 2:12)

言い換えれば、神は 皆が救われることを 望んでおられるのです。それが 神の御心です。

そして 皆さんが、神の御心に波長を合わせるなら、あなたは 彼らは救われると考えなければなりません。彼らのことを 諦めないのです。最も弱っている日の、ほんの一瞬であっても、彼らのことを諦めてはいけません。なぜなら 神の御心に限って言えば、神は 彼らを救いたいのですから。だから もし、あなたが彼らのことを諦めるなら、それは あなたの問題であって、神の問題ではありません。神は 彼らのことを 諦めてはおられません。

ただ 神は、あなたが見張り人であること、ビジネスマンである事、使節であることを望んでおられます。彼らのことを諦めず、キリストの使節であるのです。つまり、彼らが あなたを見るとき、彼らはイエスを見るのです。見張り人であるというのは、言い換えれば、彼らが見えていないことを伝えるのです。あなたには見えているのですから。警告するのです。

それから ビジネスマンとして、御父の商売をするのです。いつもいつも 御言葉を世界に伝えるのです。時が良くても悪くても、です。福音を伝え、神の御言葉、聖書を伝えるのに 悪い時などありません。絶対の絶対がありません。皆さん全員を励ましたいと思います。患難前携拳は 未信者の家族にとって 呪いではありません。実際には これは原動力で、あなたが祈り、あなたが 彼らの救いを求めるように 動かします。恐らく 今まで あなたが感じた事のないほどに。

それからもう一つ、お伝えしたいのは、時間を期待してはいけません。

「まだ時間がある」とか。聖書は告げています。

「不法の秘密はすでに働いています。」 (第二テサロニケ 2:7)

聖書は、欺きはすでに働いている と告げています。また聖書は、黙示録で告げています。

大患難が始まると、人々は あまりにもひどく欺かれ、彼らは 神の裁きが下るのを見て、また、神には これら全ての災いを 止める力があることを 彼らは知っていながら、彼らは 神を冒瀆し、悔い改めません。悪を喜ぶ時 こうなるのです。“プライド”という言葉を見てください。私は よく思うのです。「なぜ“プライド”という言葉が 最近の社会では よく使われるのか？」なぜなら、彼らは 神の御言葉に従わないことに プライドを感じているからです。彼らは まるでこんな風に 突きつけます。皆さん 一つお伝えしたいのは、神の恵み から外されている人など 一人もいません。誰一人としていません。ここに性別の差はありません。性的指向も関係ありません。神は 彼ら全員に 悔い改めを望んでおられます。彼らの道を変え、神に立ち返ることを。

「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」 (ローマ 10:13)

過去は過去で 関係ありません。後ろを振り返ってはいけません。私はいつも 信者の生活は、下りのエスカレーターを 走って上っている ようなものだ と例えます。

どうなるかと言うと、2倍の速さで走らなければなりません。聖書は 競争を走りなさい、と告げています。歩みを 歩くのではなく、いいですね？ 競争を走れ、です。もし、あなたが こんな風に考えるなら「ああ。今週は キリスト教は休もう。」「今週は、私は クリスチャンじゃない。」下りのエスカレーターで 走るのを止めると どうなりますか？

走るのを止めると 下って行きます。その場に留まりません。ただ、下って行くのです。もし 走って上っている時に、つまづいて転んだら どうしますか？ あなたは、どうしますか？ 立ち上がって、もっと速く走るのです。

「うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み」 (ピリピ 3:13)

ですから、皆さんの全員を励ましたいと思います。

皆さんのご家族に まだ救われていない人がいて、もしかすると 彼らは 神が認めないような 生き方をしているかも知れません。もしかすると 彼らは 何かを持っているかも知れません。しかし、皆さんに 言うておきます。神には それを変える事が出来るのです。

そして、祈りの力は巨大です。彼らのことを 諦めないでください。

彼らのことを 恥だと思わないでください。私達も皆、一度は 彼らのようだったのです。

面白いと思いませんか？ 私達は 反抗していたのです。それが救われて、そしたら 今度は 反抗している 人達のことを 恥ずかしいと思っている。

だから 私は、パウロがものすごく好きなのです。

パウロは、どこへ行っても 必ずシナゴグを訪れ続けました。なぜなら 彼は、自分もほんの数ヶ月前は 彼らのようだった事を分かっていたからです。ほんの数年前は、私も まさに彼らのようだった。私も 今の彼らと同じぐらい盲目だった。彼らが経験していることを、私は知っている。だから 私はここで 彼らに伝えるんだ。「分かるよ。私にも分かる。」ところで、だからこそ 私達は、キリストをより愛するべきなのです。

彼は、私達の経験している試練をご存知ですから。彼は、同情できない大祭司ではありません。この国の他の祭司たちとは違って、彼は 皆の中に溶け込みました。彼らが経験していることを 彼はご存知でした。イスラエルの大祭司たちは、人の中に溶け込みたくないのです。一般の人達が 何を感じているかさえ 彼らは知りません。

イエスは言われました。「人の子には、枕する所ありません。」 (ルカ 9:58)

つまり 私が言いたいのは、私達には 私達が経験していることを 全て分かってくださる贖い主がいるのです。私達は 彼らが経験していることを、はっきりと分かっているはずですが。そして、彼が 私達をとて愛してくださり、私達のことを 絶対に諦めないという事実から、私達が どれほど 彼らを愛し、彼らのことを諦めてはいけなさを、私達は 理解しなければなりません。誰のことも 絶対に諦めてはいけません。

なぜかという、パウロがコリントを去ろうとしていた時、神が 彼の夢に現れて言われました。「パウロ、ここは墮落した町だ。それは分かっている。」おそらく、ソドムとゴモラよりも悪かったでしょう。「しかし、わたしは、ここに多くの人を残してあるのだ。」あなたの家族、職場、学校にも、神は 多くの人を残しておられます。

ですから 皆さん、元気を出してください。ここで、この 40 分間 私に耐えてくれているラブリーな皆さんをご覧いただきましょう。ご覧ください。彼らは この 中東アップデートを生き残りました。彼らが 初めて目にするライブです。

皆さん、どれぐらい安全だと感じていますか？

「ものすごく安全です」。いくつか 動きを目撃しましたね？

今日、アパッチ（軍用ヘリ）が2機、レバノンとの国境を 低空飛行して 任務を果たしているのを見ましたが、皆さんは 危険を感じましたか？

「NO」。皆さんの危険は、もうすぐ頂く 昼食ですよ。

この中に オーストラリアの方がいます。手を挙げてもらえますか？

オーストラリアの方、はい。ちょっと待ってくださいね。オーストラリアの人々は、こちら。

手を高く挙げてもらえますか？ はい。高くお願いします。では、イギリスからの女性、手を挙げてもらえますか？ はい、いました。カナダの方もいます。カナダの方、手を挙げてください。はい、いました。他にも居ますが、ここには居ません。それから、アメリカ合衆国から来ている人々が居ます。東は遙か、ニュージャージー、南はジョージア、それから サウスカロライナですか？ それとも、ノースカロライナ？ サウスカロライナ！

それからテキサス、コロラド。ハロー？ コロラドの方？ テキサスの女性はどこですか？

北カリフォルニアから来ている人もいましたね？ ジャクソンから。はい、いました。

南カリフォルニアから来ている人もいますし、ネバダからもあります。はい、ネバダ州のラスベガスから。他にありますか？「ミネソタ！」アリゾナ！ フロリダ！ バージニア！

他には？ オハイオ！ ミネソタ！ デンマーク！ 皆さん、非常に多彩なグループです。

一つ 共通なのは、皆さん よく食べ、思いっきり楽しんでます。この後、体重測定はしませんよ。恥をかかせたくありませんから。ただ、皆さんにお伝えしておきますと、素晴らしい霊性の方々と、バスの中でも私達はとても楽しんでます。一緒にいると 本当に楽しいです。皆さんの顔をまた見たいので、彼らの顔は 十分に見ましたから、はい。

ぜひ、皆さんも ビホールドイスラエルの イスラエル体験ツアーにご参加ください。すでに、イスラエルを訪れた事のある方は 2度目の方のためのツアーにご参加ください。1度目のツアーでは見る事の出来ない 紅海やペトラやその他、新しい場所を訪れますから。また、ギリシャやローマ 他の場所も計画しています。ですので 是非、考えてみてください。

アプリをダウンロードしてください。ニュースレターを登録してください。BeholdIsrael.org です。カンファレンスにご参加下さい。アメリカ、ヨーロッパ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドで行います。それから、ソーシャルメディアで 私達をフォローしてください。そしてどうか 私のチームのメンバーと 家族のために お祈りください。彼らが なぜ未だに 私に付き合ってくれているのが 私には分かりません。

皆さんの お祈りとご支援に感謝します。では 最後に アロンの祝福で締めくくりましょう。

ヴェイシエメレハー	アドナーイ	イエヴァーレフハー
וְיִשְׁמְרֶךָ	יְהוָה	יְבָרְכֶךָ
..(主が)あなたを守られますように	主が	あなたを祝福し

ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール	
וַיְחַנֵּךְ	אֵלֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יָאֵר	
..(主が)あなたを恵まれますように		あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし

シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פָּנָיו	יְהוָה	יָשָׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るよう	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー アドナーイ ヴェイシエメレハー
 ヤーエール アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー
 イッサー アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

あらゆる理解を超える平安、それは 平和の人がもたらす 偽の平和ではなく、平和の君、平和の主が、今も とこしえまでも、ここでも、どこにいても、与えてくださいます。イエシュア、私たちの救い、私たちの王の王、主の主の御名によって祈ります。

全て 神の民は言いましょう。アーメン

アーメン ありがとうございます。 God bless you! ガリラヤよりシャローム！

何かアップデートすべき事が起こった時には、ツイッター、フェイスブックを確認してください。それから、アプリを入手してください。ありがとうございます。

God bless you! さようなら。シャローム。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

※注1 ヤコブの手紙 5章 16 節 [新改訳 第3版]

「義人の祈りは働くと、大きな力があります。」